

会議録

会議の名称	令和7年度 第1回社会教育委員の会会議
開催日時	令和7年7月16日（水）15:00～16:20
開催場所	穂波支所 3階 生涯学習ひろば（FP）
出席委員	小田原 嘉朋、氷室 敏幸、後藤 直巳、井上 節子、竹川 克幸、猿渡 和則、江藤 ふじ子、吉村 好美、中野 靖彦、中山 道代
事務局職員	教育部長、生涯学習課長、文化課長、生涯学習課長補佐兼中央公民館長、文化財保護推進室長、生涯学習係長、中央公民館・図書館係長、生涯学習ひろば担当主査、穂波交流センター長、筑穂交流センター長、庄内交流センター長、颯田交流センター長、事務局担当
会議内容	1 開会 15:00 2 委員紹介及び委嘱交付 社会教育委員による自己紹介 委嘱状交付は、時間短縮の観点から省略。 3 教育委員会あいさつ（教育部長） それでは改めまして、ただいまご紹介をいただきました飯塚市教育委員会教育部長の山田でございます。 どうぞよろしくお願いいたします。 まずもって本日はお忙しい中にもかかわらず、社会教育委員の会会議にご出席いただき誠にありがとうございます。 先ほど委員紹介でも3名の新たな方を社会教育委員としてお迎えしておりますが、市民の方もおられますのでここで改めて社会教育委員の職務についてご説明をさせていただきたいと思います。 皆様のお手元に社会教育法の抜粋というものがあると思います。この中の17条のところになります。 17条に規定されておりますが、読み上げますと社会教育委員は、社会教育に関し、教育委員会に助言するため、次の職務を行うとして、まず一つ、社会教育に関する諸計画を立案すること。 そして二つ目として、定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。 そして三つ目として、前2号の職務を行うために必要な研究調査を行うこととされております。 また下二つに2項3項というふうが続いておりますが、本日の会議を含め、主に社会教育委員の皆様にはこの1、2、3が非常に大きな職務としてあるものと考えております。

会議内容	これらの職務を遂行していただき本市の社会教育行政にお力添えをいただきますよう改めてよろしくお願い申し上げます。 本市では教育の基本理念を本物志向、未来志向の人づくりのためにと定めており、教育活動における本物との出会いや体験を通して、多様な人々との協働の中で新たな価値を見だし、自己の未来、社会の未来を自らの力で創造していく、次代の飯塚市を担う人材育成を目指しているところでございます。 子どもから大人まで様々な世代の市民が「いつでもどこでも誰でも」自由に学べる環境づくりに努め、市民のニーズに沿った、よりよい社会教育活動を振興していくために、皆様、社会教育委員の方々をはじめ、地域でご活躍されている方々の実施を提言に基づいた指導助言に期待するところが大変多くございますので、どうぞよろしくお願い致します。 本日の会議では議題にもありましたとおり、令和7年度の社会教育事業計画や生涯学習体系について、それぞれの事業を実りあるものとするために、委員の皆様からぜひ忌憚のないご意見もいただけるようお願い申し上げて、私の挨拶に代えさせていただきます。 本日はここ穂波庁舎3階、新しい場所で、かなり私もここで挨拶するのは緊張するんですけども、1年間こちらに生涯学習課がおりますので、どうぞお知りおきください。 それでは私の挨拶以上でございます。 本日はどうぞよろしくお願い致します。 事務局職員による自己紹介 4 副委員長選出 前任の檜原副委員長が辞任されたため、社会教育委員の会運営規則第2条のとおり、副委員長の立候補を伺う。立候補者がいなかったため事務局からの推薦で以下の通り決定。 副委員長・・・竹川 克幸委員 5 案件 1 議案事項 (1) 議案第1号 令和7年度社会教育団体の登録について配布資料に基づき事務局より説明 【質疑】 (委員) 資料は今日配られたものか。
-------------	--

会議内容	(事務局担当) はい。 2 報告事項 (1) 報告第1号 令和7年度 飯塚市教育施策要綱について配布資料に基づき事務局より説明 【質疑】 (委員) 説明がいろいろ多岐に渡ったが、今回いいなと思ったのは、最後に用語の解説がついていること。知識構成型ジグソー法について聞こうかと思ったが、説明があって大変助かる。 この生涯学習ひろばのリーフレットについてもこちらでよいか。ちょうど今、キャリア教育をしている場所にいるが、来てやっぱりびっくりする、すごいなど。キッザニアまで行かなくても、具体的で本格的だ。 6 ページを私から、1 点だけ。7 の 2 の外国人児童生徒への支援。うちの大学は留学生が多いため日常的だが、小学校中学校で大分増えていて、うちの大学の留学生に支援に来てくれなど、要は母国語しかできないお子さんとか多いみたいだ。飯塚市の場合はどうか。大分増えているか。 (教育部長) 6 ページの 7 の 2 ということだが、本市でも非常に今増えている。国籍で言うと、中国やフィリピンということで、両親の方のどちらかが外国籍という方が多い。家庭の中では、日本語よりも外国語で話すことが多いみたいだ。こちらにいるお子さんは、読み書きもするが、日本語がなかなか難しいというお子さんもいる。 そのようなときに、外国語の特別支援学級ということで、専門の先生がいる。ただ皆がみんな、いろんな言葉をしゃべれるわけではない。タブレット等辺りを使って、翻訳しながら、奥さんと一緒に疎通をして、日本の文化に馴染むような友達がよくできるような形で、学校で対応しているところである。 結構いる。 細かい数字については今手元に資料がないので申し訳ない。 (委員) ありがとう。 なかなか学校現場だけでは解決できないのでやさしい日本語教室、要するに、社会教育的なもので、交流センターと公民館がしていると
-------------	--

会議内容	こはしている。なかなか学校三者程度では解決できない。 (委員) 巡回指導ということで、飯塚市は何名か日本語教師が毎日ではないが、日本語指導している。先生が飯塚市に何名かいて、その先生がエリアを区切って巡回しながら、外国人が持っている悩みを聞くなども含めて、言葉の意味を教えるということでの巡回指導を行ってもらっている。 (委員) ありがとう。 企業自体が、雇用も増えてきて、県内いろんなところに、大体お子さんをお持ちの方が移住している。その方が学校に通える高校以上となれば対応が ALT もいるが、学校現場、小学校中学校は大変かなと思う。 (2) 報告第2号 令和7年度生涯学習関係課組織図及び所管事務について配布資料に基づき事務局より説明 【質疑】 (委員) 資料の赤字になってるところは何か意味があるのか。 (事務局担当) 昨年度からの変更点である。 (委員) 3 ページの、生涯学習ボランティアネットワーク事業のところにボランティア新規登録者数があるが、ただ登録するだけか。要は講座的なものを要請するとかではなく単純に募集して、新規者を募るものか。 (生涯学習係長) 新しく登録になった、ただ単なる登録である。 (委員) 研修などはやってないのか。要するに登録されても、現場にすぐ出られるのか。
-------------	--

会議内容	(生涯学習係長) 隨時募集している関係で。年1回、研修は行っている。 (生涯学習課長補佐兼中央公民館長) 補足で、このボランティアは、皆様それぞれ得意分野、教えられることを登録してもらい、必要に応じて学校や施設などに、こちらから派遣させていただいている。 新規登録は、随時登録を合計して、年に1回、ボランティアの皆さんに集まってもらい、研修などを行っているが、それぞれ登録されている分野が違う。教えていただける教科によって、学校などに行っている。 (委員) なかなか学習ボランティア的なものも、集まっている方なのかどうなのかちょっと比較ができないが、なかなか足りない。学校現場でも我々大学の教員や学生に来ることが多い。 (委員) クラブ活動とかに行ってるのか。 (生涯学習課長) クラブ活動を含めてである。 (委員) 人が足りても足りないが、担い手が1番多分足りないところで。 (3) 報告第3号 令和7年度生涯学習関係事業年間予定について 配布資料に基づき事務局より説明 【質疑】 (委員) 8ページの1番下、コミセンまつりは今年は実施するのか。 (中央公民館・図書館係長) 改修工事のためコミュニティーセンターが2月まで休館の予定となっている。 時期は、開催の方向では検討しているが、まだ日程は未定となっている。
-------------	---

(委員)
行うのか。

(中央公民館・図書館係長)
行う予定で進めている。

(委員)
改修はいつまでか。

(中央公民館・図書館係長)
改修は、2月末までの予定となっている。
3月1日開館予定となっている。

(委員)
私から追加で10ページに、私が行っている事業で郷土学講座というものがある。毎年飯塚市立図書館でやってた講座を庄内図書館でやるのだが、流鏑馬と書いているのは仮である。

今年、綱分八幡が1300年という記念行事で、10月9日に庄内図書館で私と、大分八幡の獅子舞のフェスティバルが300年事業であり、その柱になった地元出身の若い県庁職員の2人で講座する。若い人が担い手になって地域の文化や社会教育を広げようという担い手も出てきている。庄内図書館でやる予定だ。次は大分八幡が1300年のお祭りをしたいと言っている。

もう1点15ページだが、今、図書館が閉まってるため臨時窓口でサテライト飯塚が開設されている。まだ行けてないが、ニュースでも見たがどのような感じか。

(中央公民館・図書館係長)
6月25日から臨時窓口をコスモスコモンの休憩室に開設している。1日の平均のお客様は大体20名前後、多いときで30名ぐらいいるということだ。

サービス内容は、新刊の貸出し、資料の返却、当日の新聞の閲覧である。

(委員)
結構午前中だけでも思っているより利用者がいる。今度のぞいてみたい。ありがとう。

(委員)
そこでは資料の閲覧はできないのか。

(中央公民館・図書館係長)

本の新刊が、ほぼ 400 冊ほど置いている。毎週 200 冊ほど新刊が入っている。2 週間分を入替えながら置いているような感じだ。

(委員)

雑誌は置いていないのか。

(中央公民館・図書館係長)

雑誌は置いてない。新聞の閲覧はできる。

(委員)

嘉穂劇場が出来上がって、テレビなどがいろいろなところから来ているが、飯塚市がメインにするのは嘉穂劇場。今宣伝には 1 番良いと思う。

そこで、将来も見据えて、近況報告といつ頃大体景気などを選んでできるかを知りたい。

(文化課長)

今年、嘉穂劇場は本体建物の周りのところの付属建物の解体を行う。それが来年の夏頃に終わる予定である。そのあとに、来年の秋頃に嘉穂劇場見学をできるような施設として、開館を行う。ここがまず第一歩だと思っている。

劇や、いろんなコンサートの活用については、まだそのスケジュールは立っていない。

第 1 回の開場の後の利用状況やいろんな要素を含めて、そのあとの整備状況によって、その時期が定まるかと思っている。文化財としてそれを見てもらえるように整備を行って開放をするというところである。

(委員)

まだまだ先があるということか。

(文化課長)

はい。

(委員)

文化財があるから。

(委員)

こちらが優先になっているため、市民の皆さんも期待されてると思

う。

(委員)

私も考え方として、普通の工事だ。

(委員)

先にただ見学の道が少し見えてきたということで。

(委員)

見学は無料か。

(文化課長)

まだ決めてない。ただ有料になると思う。

(4) 報告第4号 社会教育関係研修会について配布資料に基づき事務局より説明

(委員)

九州ブロック社会教育研究大会がアクロス福岡であるのは、いつも各県でやっているものが福岡県であるということか。

(事務局担当)

はい。

(5) 報告第5号 令和6年度生涯学習の体系について配布資料に基づき事務局より説明

(委員)

去年も言ったが、平成昭和に関しては、西暦を併用してもらわないと、何年前のことなのかというのが分かりづらい。昭和平成に関しては、西暦も一緒に書いてほしい。

(生涯学習係長)

すみません。

(委員)

最後に私から一点だけ、冊子の5ページ青年中期の高校生の図書館の調べる学習コンクールの高校生にも一応声をかけるようにした。また嘉穂高校とか嘉穂東高校とかいずれ報告すると思う。

小学生中学生の募集が少なかった。高校は御縁がたまたまあって、嘉穂高校や嘉穂東高校には行く。そういったところから生涯学習体系がきちんと世代がつながる仕掛けをつくっていくことが必要だと思っている。どんなボランティアでもそうだが、経験したことが単体で終わってしまうというのはもったいない。

例えば文化連盟。今新人音楽コンクールをやっているが、50代ぐらいの人が若手になってきている。次の世代をつくっていくという仕掛けをライフステージで、世代の学びやセクトが分かっていると思う。今度学びのステージをつなぐ仕掛けみたいなものをせっかく次できたら次のステップに進むということが考えられる良い材料だ。

よく分かりやすい、ライフステージ、学びのステージになっていると思う。また、世代を超えた何か取組や連携が出てくるのかなと思っている。

また図書館から報告があると思うが、なかなかいきなりは高校生は忙しいので無理だと思うが、そういうことを始めている。

(委員)

学校給食の話題があったが、SNSでも問題になった。

(委員)

唐揚げ1個のものか。

(委員)

2回ぐらい今年、去年から食べたことがあるが、内容的に少し寂しいかなという気がした。今物価高だから給食費の予算などがあるのか。それを含めてどんな感じか。

(教育部長)

大体給食費が、食材費としては5から6億の予算である。それだけでは実際足りない状況は発生している。

今現在、本来であれば、保護者の皆様から頂く給食費で食材費を賄うという、イコールの関係でやるが、既にもう難しくなっている。市の一般財源、いわゆる皆様方から頂いた税金から足りない部分を少し充当させていただいている。

そういった中で、管理栄養士さんが給食の栄養献立をいろいろ工夫されて骨折っていただいて、子どもたちの栄養価を満たすような形で作っている。なおかつ、おいしく、安全にということを前提にしながら、九州それこそ今話に出たが、福岡なので皿が大きかったとかいう話もあるが。

(委員)

満足していたみたいなの。

(教育部長)

その関係で給食費は今のところは、本来で言えば、値上げもしくは給食費自体の見直しをするべきであるが、今現在は一般財源を充当する形で、不足してるものを対応してるという形だ。当面このままかと考えている。国から、来年から給食の無償化というお話がちょっと入っている。

(委員)

材料費が原材料費がすごい上がっている。

(教育部長)

相当上がっている。

(委員)

全部合わせたら相当上がっている。

(教育部長)

前までは、4億ぐらいで済んでいるが5億から5億5000万ぐらいまで、今、食材費だけでなっている。毎年12月に補正予算を組んでいる状況ではある。

(委員)

国の無償化は難しい。福岡市は早めになる、財源が豊かだから。飯塚市は財源はどうなるのか。

(教育部長)

基本的に無償化したときに必要な財源は大体3億から3億5000万である。

既に生活が厳しいご家庭、いわゆる生活保護世帯や就学援助世帯、非常に収入が少ない生活保護ではないが収入が少ない世帯は既に無償である。

3億から3億5000万の無償化に必要なお金は、そこから上の方々を無償化するために必要なお金である。だから、ここに3億から3億5000万を使うと、今生活困窮している人たちは既に無償化だから何も受けない。

飯塚市としてはここに3億から3億5000万使うのならば、もっと別の教育的な要素に使った方が良いのではというのが今のうちの考

	え方だ。 そのようなところで、実際、国がという話もあるが、給食の無償化で難しいことは、飯塚市の給食費は小学校が 4010 円、中学校が 4830 円。ちなみに日新館小学校で給食費 8000 円。 あと、市内の公立中学校でいえば、県立嘉穂附属中学校は簡易給食という、牛乳が 1 本出るだけであとはお弁当を家から持ってくるものがある。 そうすると、国が言う無償化というものが既に文科からも出ていたが、生活困窮世帯に対する手当てなのか、それとも子育て少子化対策の観点からの施策なのかをまずはっきりしなくてはならないというのが文科からの調査の結果の回答だった。 だから無償化一律といっても、義務教育の部分もあれば、県は違うし、私学のほうはまた違うという中で、皆様一緒にそのような恩恵を受けるという場合は、私も国がどういうふうな形で無償化してくれるのか情報収集に余念がないところではある。 (委員) ありがとう。 非常に分かりやすい米の問題から、いろいろなことが教育の現場、学校現場に影響を与えている。 6 その他 事務局よりコミュニティーセンター改修工事に関して、第 2 回社会教育委員の会会議について説明。 7 閉式 16:20
会議資料	・ 会議次第 ・ 令和 7 年度社会教育団体の登録について ・ 飯塚市教育施策要綱（令和 7 年度） ・ 令和 7 年度生涯学習関係課組織図及び所管事務 ・ 生涯学習関係事業令和 7 年度年間予定 ・ 令和 7 年度社会教育関係研修会について ・ 飯塚市の生涯学習体系 ・ 社会教育委員関係規定 ・ 令和 7 年度飯塚市社会教育委員・飯塚市職員名簿 ・ いいつか子ども体験型キャリア教育 生涯学習ひろば
公開・非公開の別	1 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者 0 人)
その他 (非公開理由等)	